

学校名 南城市立知念中学校	連絡先 TEL : 098-948-1303 Eメール : chichu-kyoutou@nanjo.okinawa.jp
-------------------------	--

タイトル：「主体的・対話的で深い学びにむかう力の育成」

1 実践事項（①または②）

【取組1】地域教育資源の活用

○各教科、第一次産業体験学習、職場体験学習、平和集会等で、地域の自然、文化、産業や人材を活用した学習を行う。

【取組2】学習環境の充実

○黙想、チャイム前入室・着席、学習用具の準備等、「本校学習のきまり」の徹底及び家庭学習の習慣化を図る。

【取組3】知学タイムの実施（基礎基本の徹底）

○知学タイム確認テスト正答率を、国語7割、数学6割、英語1年7割、2年6割、3年6割とし、全生徒の80%以上が、その達成値を突破する。

○学力向上Webシステムを活用し、Webシステムの活用問題を知学タイムに取り入れていく。

【取組4】確かな学力の充実

○全国学力・学習状況調査、県学力到達度調査において、全教科で県平均正答率を上回り、無回答を減少させる。

○学力向上月間の取組を全校体制で実施する。

【取組5】校内研修の充実

○各教科研究テーマを設定し、一人一公開授業及び三参観、授業研究会を行う。

【取組6】「知・徳・体」の3つの教育目標の連鎖

○全学年で生徒が3つの学校目標から学年・学級目標と連動させ学期毎に目標設定・自己評価する。

2 実践内容

【取組1】地域教育資源の活用

①平和学習にて、屋号26の人々の戦争体験について学ぶ

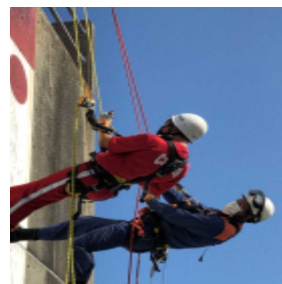
②3年ぶりに1年で1次産業体験（10事業所）、2年で職場体験（17事業所）を3日間実施。



平和学習会



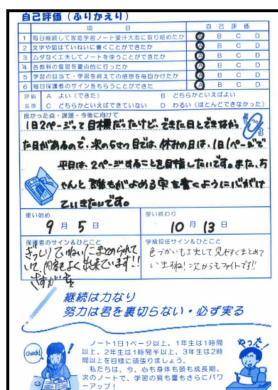
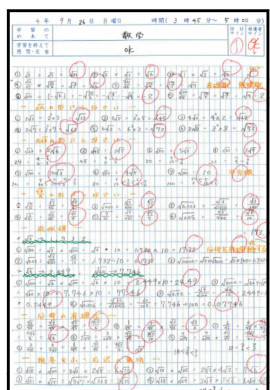
1次産業体験（漁協）



職場体験（消防）

【取組2】学習環境の充実

- ①毎週金曜日の帰りの会では、机、ロッカーを整理整頓させ下校（整理整頓の日）、
- ②本校独自の家庭学習ノート（愛汗大志）を使用し、年間5冊以上を目標に取り組んでいる。
- ③愛汗大志1冊終了ごとに、校長に提出し、終了証をもらい、家庭学習山登り表に記録する。



愛汗大志(家庭学習ノート)

家庭学習山登り表

【取組3】知学タイムの実施

- ①年間実施計画を作成し、週4回、朝の20分間（8:25～8:45）に実施する。
- ②国語・数学・英語を年間を通して実施する。
- ③月末に「知学タイム確認テスト」を設け、学習内容の定着を図る。
- ④国数英の担当教師以外はTTとして関わり、全職員で指導にあたる。



知学タイム

【取組5】校内研修の充実

校内研修の研究テーマ『主体的・対話的で深い学びに向かう力と学びの質を高める「授業改善」』のに沿って授業づくりを教科研究部会で検討、実践を行っている。

また、本年度は、指導主事招聘授業を5名の教諭が行った。

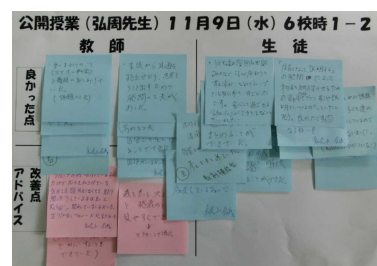
授業者は、授業プランシートを作成し、授業を公開する。「付箋紙大作戦」として、公開授業後は良かった点やアドバイスを付箋紙に記入し担当へ提出する。授業後振り返りを行う。また、ICT 機器（クロムブック）等を活用した授業の実践も行い、生徒の理解を深めたり、学習意欲の向上に繋がっている。



グループ学習



クロムブックの活用



付箋紙大作戦

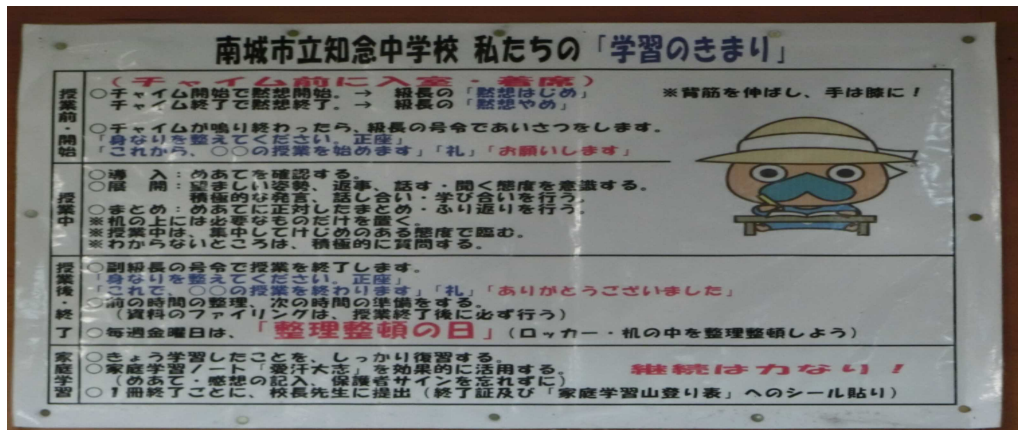
特に、英語科では、南城市小中外国語研修会で、文科省調査官を招聘し、授業研究会を行った。それに向け、琉大教授や市教育委員会の指導主事の指導を仰ぎ、日々の授業づくりに取り組むことができた。

3 説明資料

① 知学タイムの年間計画

月別計画表								年間合計(回)										
月	学年	教科	回数	月	学年	教科	回数	月	学年	教科	回数		1年	2年	3年			
4	1			5	1	国語	5	6	1	英語	6	年間計	国語	18	15	17		
	2				2	数学	5		2	国語	6		数学	18	18	14		
	3				3	英語	5		3	数学	6		英語	15	18	17		
7	1	数学	3	9	1	国語	6	10	1	英語	4		年間計	英語	15	18	17	
	2	英語	3		2	数学	6		2	国語	4	数学		18	18	14		
	3	国語	3		3	英語	6		3	数学	4	英語		15	18	17		
11	1	数学	7	12	1	国語	4	1	1	英語	5	年間計		英語	15	18	17	
	2	英語	7		2	数学	4		2	国語	5		数学	18	18	14		
	3	国語	5		3	英語	3		3	数学	4		英語	15	18	17		
2	1	数学	8	3	1	国語	3	年間計	国語	18	15		17	18	18	14	15	18
	2	英語	8		2	数学	3		2	国語	5	数学	18	18	14	15	18	17
	3	国語	9		3	英語	3		3	数学	4	英語	15	18	17	18	18	14

② 教室前面に私たちの「学習のきまり」を掲示し、確認している。



4 成果

- ・知学タイムの学習をわかりやすく、役に立っていると肯定的に捉えている生徒が、86.1 %いる。
 - ・家庭学習強化月間では、曜日ごとに教科を決め、授業と連動した課題を与え、学習することができた。
 - ・一人一公開授業をすることで、教師一人一人の授業に対する意識が高まり、授業改善が推進されている。
 - ・英語で学習した自分の意見の伝え方（OREO）を、他の教科でも活用しており、教科横断的な授業につながっている。
- また、授業に熱心に取り組む生徒が増え、学期末テストでは平均点が 10 ポイント上がった。

5 課題

- ・基礎学力の定着が不十分な生徒への具体的な支援
- ・愛汗大志の内容の充実と教科のバランス
- ・クロムブックの有効な使い方(情報モラルを含む)
- ・全国学力学習状況調査、県学力調査等で県平均正答率を上回り、正答率 30 %未満者の減少を目指した更なる授業改善。